

2014年10月28日

各位

積水ハウス株式会社

ザ・リッツ・カールトン京都 アジア・パシフィックの今年開業の最優秀受賞 HICAP AWARDS

「ザ・リッツ・カールトン京都」(京都市中京区二条、事業主:積水ハウス株式会社、運営:ザ・リッツ・カールトン・ホテル・カンパニーL.L.C.)が、10月17日香港で開催された、「アジア・パシフィック・ホテル投資会議」(以下HICAP)において、この1年間に開業した最優秀のホテルに贈られる「Reggie Shiu Development of the Year」に選ばれました。

HICAPは、世界のホテル投資家や開発事業者、設計事務所、ホテル事業者、コンサルタント等を対象とする伝統あるアジア・パシフィックのホテル投資会議です。今年は25周年となります。

Reggie Shiu Development of the Year はアジア・パシフィックのホテルのパイオニアの一人であり、スマトラ沖地震により犠牲となったReggie Shiu氏にちなんだ賞です。毎年、その年に開業したホテルを対象に、完成までの課題克服、開発規模、イノベーション、パフォーマンス、ROIなど様々な評価項目から選ばれます。

これまでも、同賞には、「マリーナ ベイ サンズ」(シンガポール、2010年)、「ザ・リッツ・カールトン香港」(2011年)、「パレスホテル東京」(2012年)、「パークロイヤル オン ピッカリング」(シンガポール、2013年)などが選ばれています。

「ザ・リッツ・カールトン京都」は、この榮譽を受け、これまで以上に、京都の伝統・文化のエッセンスが散りばめられたラグジュアリーな空間で、ここでしか味わえない上質な時間を提供してまいります。

HICAP Reggie Shiu Development of the Year WINNER

The Ritz-Carlton, Kyoto (同HPより抄訳)

豪華な施設の134の客室を備え、鴨川に面し東山の景色を楽しめるスイートを持つ。その地にあった明治時代様式の木造建築の1/3を保存し、中庭に面するダイニングの中央に配することで、新しさと古さの融合を図る。元あったホテルの一部であった滝も保存し、地階のレベルにまで自然光が入るように配慮されている。積水ハウスが事業資金を投じ、ザ・リッツ・カールトン・ホテル・カンパニーL.L.C.が運営事業者として、双方にとってwin-winとなるシナリオでの、きめ細かなパートナーシップが実現した。

